

2026年度「学校基本調査」速報

大学生数が過去最多を更新！ 短大生数は33年連続減

2027年大学受験生数も予測

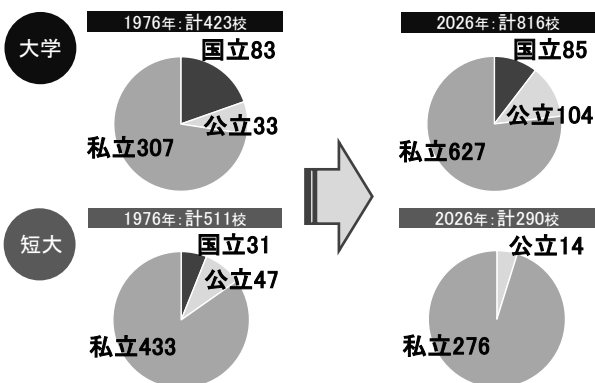
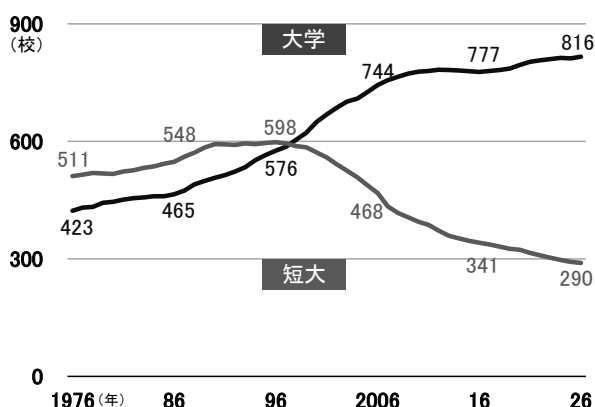
旺文社 教育情報センター 2026年9月9日

2026年度「学校基本調査」速報が公表された。大学は校数・学生数とも増加の一方、短大はいずれも減少。本稿では「学校基本調査」速報に基づき、大学数・短大数、学生数などの基礎データと、弊社による次年度以降の大学受験生数予測を示す。

◎「学校基本調査」(文部科学省)

- ・学校教育行政に必要な基本的事項を明らかにすることを目的として、幼稚園・小学校・中学校・高校・特別支援学校・専修学校・大学・短大・高等専門学校など全学校を対象に学校数、在学者数、入学者数、卒業生数、入学の状況・卒業後の状況、教員数などを調査。1948年度(昭和23年度)から毎年実施されている。
- ・「速報」では学校数・在学者数・教職員数などを公表。卒業後の状況など全項目の集計結果は、12月に確定値として公表予定。

大学数、短大数の推移



※大学に大学院大学を含む。 ※学生募集停止の大学・短大も正規の廃止手続きが完了していない場合は含む。 ※通信教育のみを行う大学・短大は除く。

1976年からの50年間で大学数1.9倍、 短大数はピークから半減

2026年の大学数(大学院大学を含む)は前年より4校増の816校、短大数は2校減の290校。大学は募集停止がありながらも、新設もあり増加。短大は1996年598校がピークで、翌年から30年連続減少で半減。近年、募集停止が続いている(2025年23校、2026年22校、2027年も14校が募停公表)。

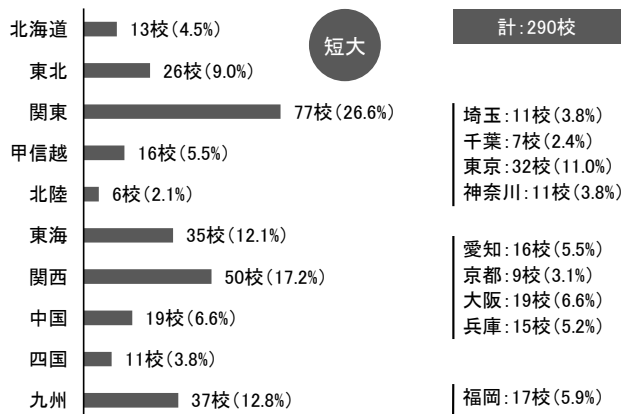
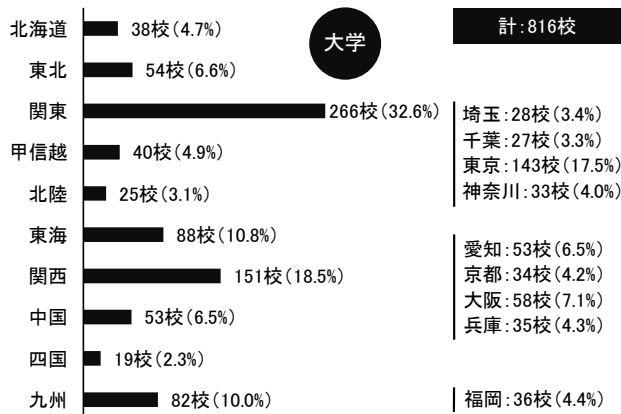
設置者別では大学・短大とも私立が大半を占める。私立の占める割合は(1976年→2026年)、大学:72.6%→76.8%、短大:84.7%→95.2%。公立大学の増加も顕著だ。50年間で校数は3倍超になり、占有率も同様に7.8%→12.7%とアップ。

なお18歳人口[*1]は、1976年は154.8万人、2026年は対前年約2千人増の110.3万人[*2]。18歳人口に対する進学率は(1976年→2025年[*3])、大学27.2%→58.6%、短大11.3%→2.7%で、大学は倍以上にアップ、短大は大幅ダウンになっている。

*1:3年前の3月の中学校等卒業生数。

*2:旺文社推定。 *3:「速報」では2026年データは算出できないため2025年を掲載。

2026年度 大学・短大のエリア別の設置状況



大都市圏に集中する大学設置。 短大も同様の傾向だが、 大学に比べれば分散している

首都圏、愛知・京都・大阪・兵庫といった大都市圏に大学が集中している。これら三大都市圏に所在する大学数は411校で、全体の50.4%を占める。なかでも、東京にある大学は143校と、関西全体の151校に並ぶほど群を抜いて多い。必然、首都圏1都3県の大学数は多くなり231校。占有率は28.3%で、首都圏には日本の大学の4分の1超がある。

設置者別に大学数が多い都道府県は、国立：東京11校・北海道7校、公立：北海道7校・広島5校、私立：東京130校・大阪53校など。

短大も同様に1都3県合計の占有率が21.0%を占めるなど大都市圏への集中は見られるものの、エリア別の占有率を大学と見比べると、いくぶん地方に分散していると言えよう。

※エリア・都道府県は、大学・短大の本部所在地による。
※大学に大学院大学を含む。
※学生募集停止の大学・短大も正規の廃止手続が完了していない場合は含む。 ※通信教育のみを行う大学・短大は除く。

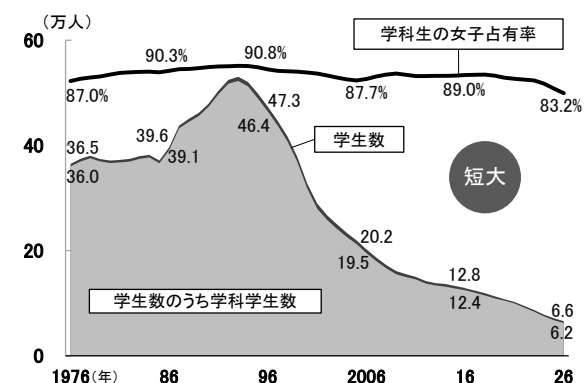
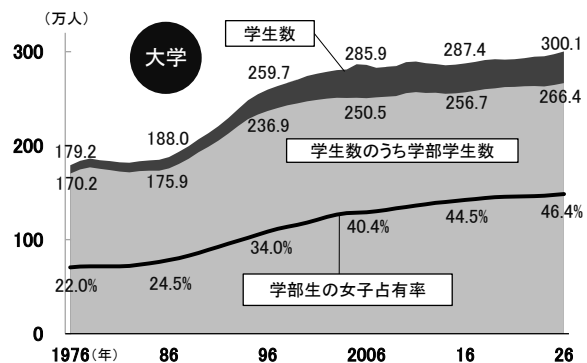
大学・短大の学生数 & 女子占有率の推移

大学の学部学生数が過去最多。 女子の人数も最多

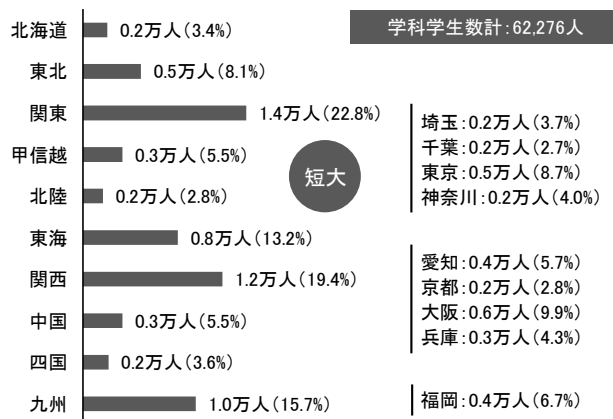
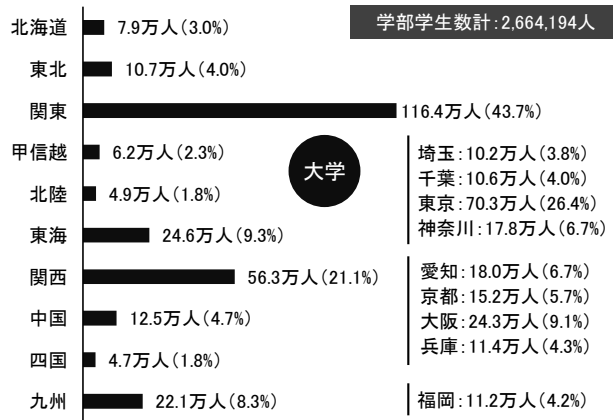
2026年、大学の学部学生数は対前年1.8万人増で過去最多の266.4万人。設置者別では、国立：43.7万人（対前年1.6千人増）、公立：15.2万人（同2.5千人増）、私立：207.5万人（同1.4万人増）。私立大学の学生占有率は77.9%。女子の学部学生数は123.7万人で過去最多。占有率46.4%も過去最高。人数・占有率のいずれも45年連続の上昇だ。なお、女子の学部学生数は対前年1.7万人増となっており、全体の増加数1.8万人の9割超を女子が占めている。

短大の学科学生数は、33年連続で減少。前年より5.3千人減の6.2万人となった。

※学生数に大学院生(大学の場合)、専攻科・別科の学生、科目等履修生等含む。 ※通信教育の学生は含まない。



2026年度 大学(学部)、短大(学科)の エリア別の学生数



東京の学部学生数が全体の4分の1。 設置状況と同様に 短大は地方にも分散

大学の設置状況と同様に学部学生は三大都市圏に集中している。首都圏1都3県と愛知・京都・大阪・兵庫の占有率合計は66.7%。なかでも1都3県の学生数は108.9万人で、全体の40.9%を占める。1都3県の大学設置数は全体の28.3%であるため大規模校が多いことの裏返しと言えよう。また、東京の人数は圧倒的だ。その占有率は26.4%で、関西全体を超える。

これら大都市には私立大学が多く、私立の学生占有率が高い（全国平均77.9%に対して埼玉91.6%、千葉89.2%、東京92.5%、神奈川92.6%、愛知84.8%、京都85.8%、大阪87.0%、兵庫81.9%）。

グラフに示した都道府県に次いで学部学生が多いのは、広島5.3万人、宮城4.9万人、岡山3.7万人、静岡3.4万人。

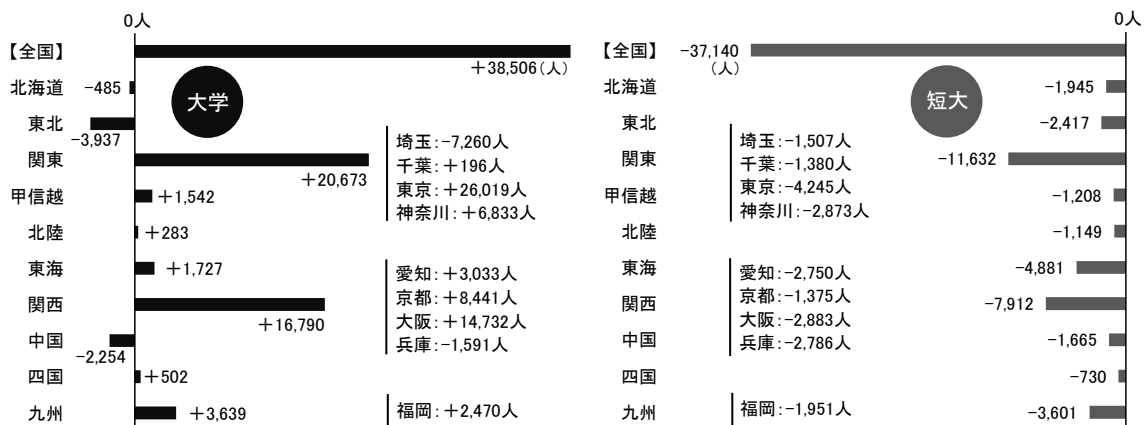
短大の学科学生の三大都市圏合計の占有率は41.9%で、集中度は大学（66.7%）ほどではない。

※エリア・都道府県は、大学の学部、短大の学科所在地による。
※ここでは示していないが、大学では他に「外国26人」がある。
※通信教育の学生は含まない。

2026年度の大学(学部)、短大(学科)のエリア別の学生数を2021年度と比較した増減

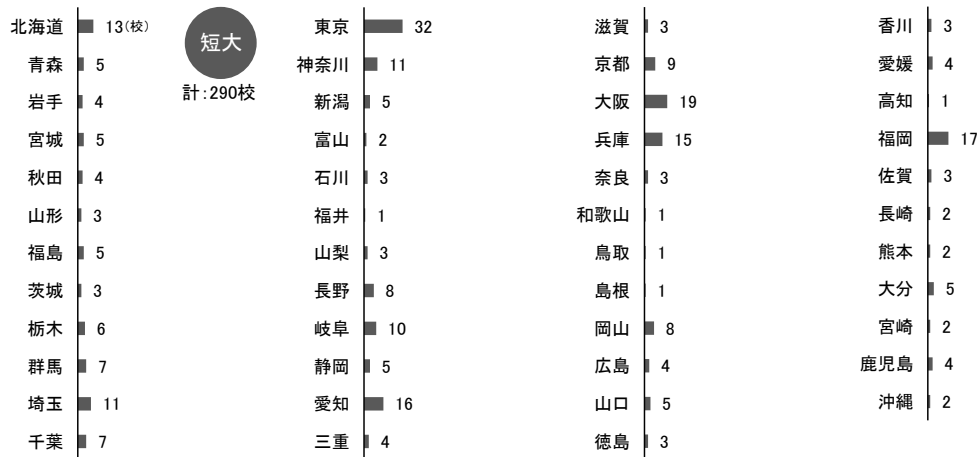
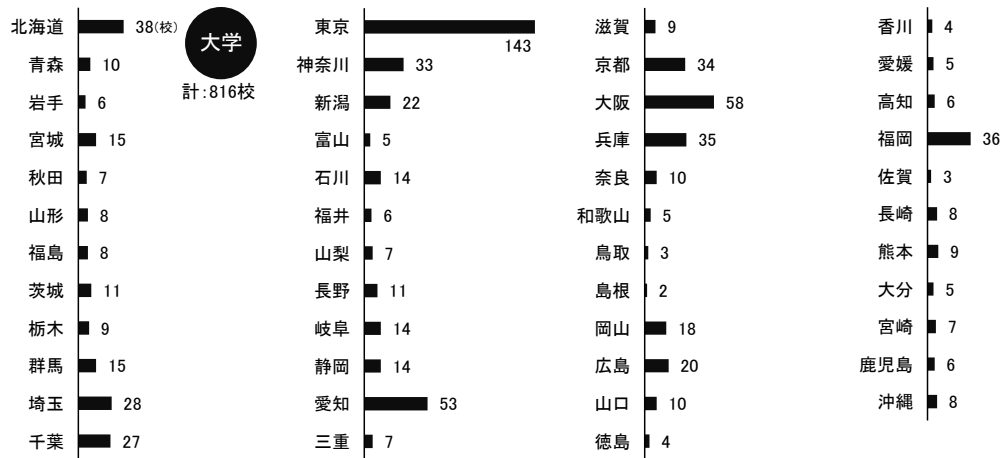
東京、大阪の 学部学生増が顕著

大学の学部学生数は5年前（262.6万人）から3.9万人増加（1.5%増）。関東、関西での増加がほとんどだが、茨城・群馬、埼玉、滋賀、兵庫、奈良は減少。他方、東京・大阪の学生増は際立っている。47都道府県中、24道県で学部学生は減少した。同様に短大を見ると、学科学生数は5年前（9.9万人）から3.7万人減少（37.4%減）。全エリアで減少している。



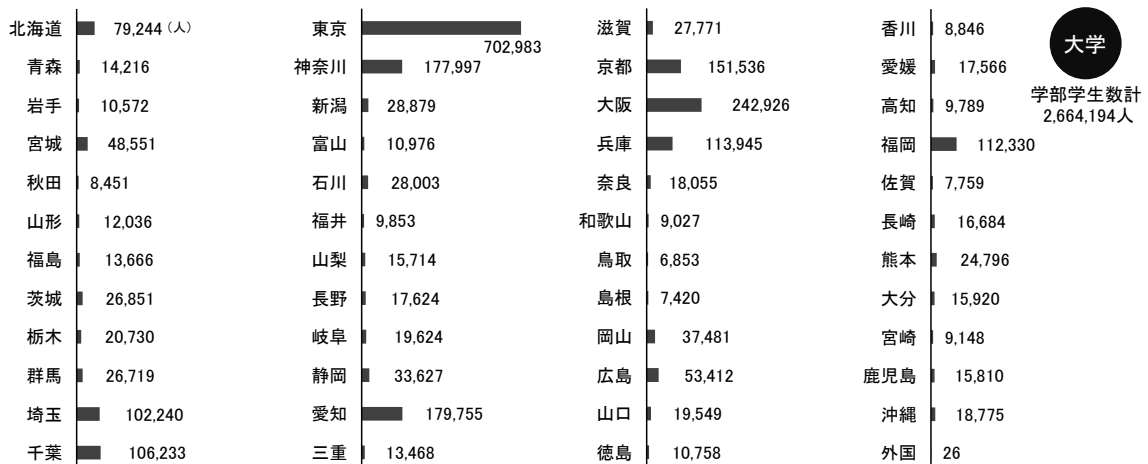
※エリア・都道府県は、大学の学部、短大の学科所在地による。 ※ここでは示していないが、大学では他に「外国+26人」がある。 ※通信教育の学生は含まない。

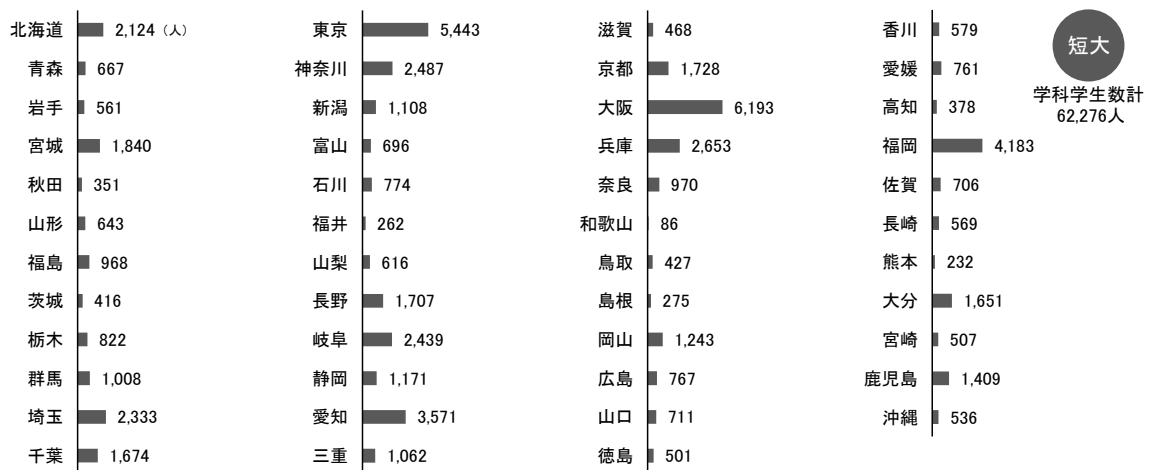
2026年度 大学・短大の都道府県別の設置状況



※都道府県は、大学・短大の本部所在地による。 ※大学に大学院大学を含む。 ※学生募集停止の大学・短大も正規の廃止手続が完了していない場合は含む。
※通信教育のみを行う大学・短大は除く。

2026年度 大学(学部)、短大(学科)の都道府県別の学生数





※都道府県は、大学の学部、短大の学科所在地による。 ※通信教育の学生は含まない。

ここまで「学校基本調査」速報に基づいて大学数や学生数を示した（大学数に大学院大学や正規の廃止手続未完了校を含む）。これとは別に、2026年4月の学生募集を実施した大学に関して、大学数、学部・学科数や学問分野別の設置状況などに関する分析を、2026年6月26日に弊社教育情報センターから配信している（大学数に大学院大学、募集を停止した大学を含まず、学士の学位が取得できる大学校を含む）。[こちらの記事](#)も参照していただきたい。

2027年入試の「大学受験生数」は69.1万人と予測

最後に、「学校基本調査」で公表された高校の生徒数や弊社入試動向分析などを基に大学受験生数予測を示す。18歳人口は今後減少していくものの、高校生の現役志願率は引き続き上昇する見通しで、2027年入試の大学受験生数は69.1万人と予測する（対前年1.1%増）。

本予測には、近年生徒数が急増している通信制高校（2026年の生徒数：31.2万人 [5年前の1.4倍]）をはじめ、特別支援学校高等部などからの受験生も含む。

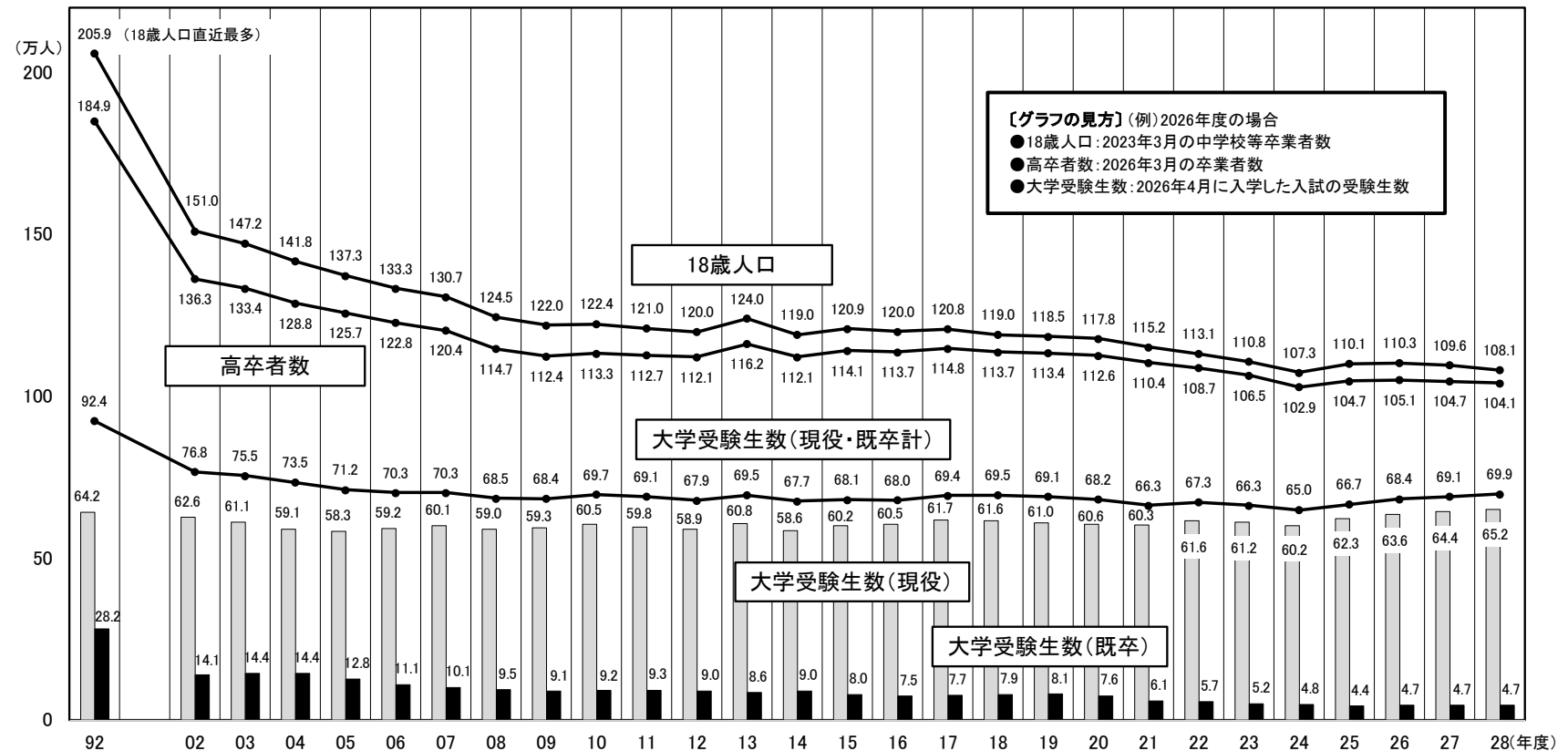
(2026.9 加納)

次ページに「18歳人口&高卒者数&大学受験生数 推移」グラフを掲載。

18歳人口 & 高卒者数 & 大学受験生数 推移

(株)旺文社 教育情報センター

2026年9月



大学現役 志願率(%)	34.7		46.0	45.8	45.9	46.4	48.2	49.9	51.5	52.8	53.4	53.0	52.6	52.4	52.3	52.7	53.2	53.8	54.2	53.8	53.8	54.6	56.7	57.4	58.5	59.5	60.6	61.6	62.6
大学現役 入学率(%)	54.2		76.3	76.7	78.3	81.8	83.5	84.9	85.8	86.0	85.9	86.0	86.5	86.2	87.4	88.0	88.0	87.5	87.0	87.8	89.4	91.0	91.5	92.5	92.7	92.7	92.8	92.8	92.8

【注】文科省「学校基本調査」より算出。2025年以前は実数、2026年以降は旺文社予測。「18歳人口」…3年前の中学校、中等教育学校前期課程、義務教育学校、特別支援学校中学部の卒業者数・修了者数合計。「高卒者数」…全日制・定時制高校、中等教育学校後期課程、通信制高校、特別支援学校高等部の卒業者数・修了者数合計。「大学受験生数」…左記学校および高認合格者の大学受験生数合計。高認合格者は便宜上、共通テスト志願者数を大学受験生数とみなす。「大学現役志願率」…新規高卒者における大学受験生の割合。「大学現役入学率」…大学現役受験生における大学入学者の割合。